

第1学年2組 学級活動(2) 学習指導案

実施期間 令和 年 ○月  
 指導者 ○○ ○○ (T1)  
 ○○ ○○ (T2)

1 題材の構想

「もりもり食べて げんきな○○○っ子になろう」

(エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成)

題材終了後の子どもの姿	健康な体を作るためには、好き嫌いをせずに、食べ物を偏りなく食べることが大切であることを知り、自分で立てためあてを意識して、何でも食べてみようという意欲が高まっている。		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
題材の目標	自己の「食」についての諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けることができる。	自己の「食」に関する諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践することができる。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組もうとしている。
目標に向かったための手立て	○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」 【めあて】 事前に行った給食アンケート結果を電子黒板に映し出し、視覚的に分かりやすく示すことで、実態から自分の食べ方や課題に意識が向くようにする。 【振り返り】 何に気をつけて食べるとよいか自分で決めためあてを授業支援アプリで共有することで、実践へのやる気につながるようにする。また、「もりもり大さくせん」を実践した後に自分の「食」について振り返る時間を確保し、変化を実感できるようにする。 【対話】 給食アンケート結果をもとに、偏りなく食べるためには、どんな食べ方をするとよいかについてワークシートに記入することで、友達との円滑な意見交換の材料とする。		
子どもの実態 30人	給食をはじめとして「食」について興味を持っている児童は多いが、自己が抱えている課題には気付いていない児童が多い。	入学当初よりは、いろいろなものが食べられるようになってきている。しかし、何でも残さず食べようという意識が高い児童と低い児童とで差が見られる。	食に興味をもってバランスよく食べ、さらにおかわりまでする児童もいるが、少食や偏食があり、メニューによっては、あまり食べられない児童が2割程度いる。

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
野菜の働きや、作り手の思いを知り、よい食事のとり方を理解したり、元気に過ごすための食べ方を身に付けたりしている。	健康によい食事のとり方を考え、好き嫌いをせずに食べるためにめあてを決め、実践している。	自分の食べ方の課題に気付き、それを克服するためにめあてを決め、その後の実践につなげようとしている。

指導と評価の計画（2時間取り扱い 本時1/2）				
課題等	活動段階	期日・時間	主たる学習活動	評価する内容と方法等
べよう。 自分のめあてを立てて、食べ物を残さず、偏りなく食べる。	事前	1月〇日 朝の時間	○アンケート記入	【主】 給食アンケート
	本時	1月〇日 学級活動	もりもりたべて げんきな っ子 になるう	【知】 行動観察 【思】 発言、ワークシート
	事後	1月〇日 ～〇日 給食時間	○実践	【主】 ワークシート
		1月〇日 学級活動	○振り返り	【思】 振り返りシート

## 2 本時の授業計画

### (1) 本時の目標

自分の食べ方の課題に気付き、食べ物を偏りなく食べることの大切さや、作り手の思いを知ることを通して、自分なりの食べ方のめあてをもつことができる。

### (2) 展開

過程	時間	学習活動	主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	教師の支援 評価	備考 ・ICT 機器等
つかむ	5	1 給食についてのアンケートの結果を知る。	○毎日の給食をこんなふう に食べていることがわかり ました。 ・好き嫌いが多いな。 ・もりもり食べたいな。	給食の食べ方について のアンケート結果 を知らせ、自分事と して考えられるよう にする。	給食ア ンケー ト結果 (電子 黒板)
		げんきな っ子になるには、なにに気をつけて たべるといいのかな			
さぐる	20	2 給食を残したり減らしたりするわけを話し合う。	○どうして給食を残したり 減らしたりするのか。 ・苦手なものがあるから。 ・時間が足りないから。 ・ちょっと量が多いから。	○自分の素直な気持ち をつぶやくことが できるような雰囲気 をつくる。	給食ア ンケー ト結果 (電子 黒板)
		3 食べるのに適切な量や野菜の働き、残食について、栄養教諭から話を聞く。	野菜はいろいろなパワー を持っているよ。 ・知らなかったな。 ○みんなに食べてもらう ためにこんな工夫をして いるよ。	○T2 が野菜の働きや適 切な量、給食を作る 際の具体的な工夫等 を知らせることで、 食べる意欲につなげ る。 【知】 野菜の働き や作り手の思いに気 付いている。	ワー クシ ート
見つける	10	4 何に気をつけて食べるとよいかを話し合う。(ペア 全体)	何に気をつけて食べると 毎日元気に過ごせるか考 えてみよう。 ・苦手なものにも挑戦す ると元気に過ごせるね。	○実態をもとに、個別 の声かけをする。	
決める	10	5 自分のめあてを決める。	○給食の時にどんなこと に気をつけて食べるか、め あてを立てよう。 ・苦手なものにもチャレ ンジしてみたいな。	【思】 好き嫌いを せずに食べるために めあてを決めてい る。 ○「もりもり作戦カー ド」で実践するこ とを伝え、意欲を高 める。	ワー クシ ート タブ レ ット 電子 黒 板

# 特別活動

第1学年〇組 学級活動(2) 学習指導案

指導者 ○〇 ○〇 (T1)  
○〇 ○〇 (T2)

## 1 題材の選定

「もりもり食べて げんきな○○○っ子になろう」

### 指導者

担任以外の専門性を生かした指導者との協力も考える。

ポイント

ポイント

### 題材

年間指導計画で予定されている題材について、子どもたちが共通に解決すべき課題を取り上げる。

### 材の目標

この意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けることができる。  
いて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践することができる。  
り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組もうとしている。

### 目標に向かうための手立て

○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」  
【めあて】  
事前にロイロノートで行った給食アンケート結果を電子黒板に映し出し、視覚的に分かりやすく示すことで、実態から自分の食べ方や課題に意識が向くようにする。  
【振り返り】  
何に気をつけて食べるとよいか自分で決めためあてをロイロノートで共有することで、実践へのやる気につながるようにする。また、「もりもり大きくせん」を実践した後に自分の「食」について振り返る時間を確保し、変化を実感できるようにする。  
【対話】  
給食アンケート結果をもとに、偏りなく食べるためには、どんな食べ方をするとよいかについてワークシートに記入することで、友達との円滑な意見交換の材料とする。

ポイント

### 目標に向かうための手立て

一人一人が具体的な事実、事象をもとにして自己を振り返ることができるよう、アンケート、インタビュー、映像、写真、音声等を効果的に活用する。

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①野菜の働きや、作り手の思いを知り、よい食事のとり方を理解したり、元気に過ごすための食べ方を身に付けたりしている。	①健康によい食事のとり方を考え、好き嫌いをせずに食べるためにめあてを決め、実践している。	①自分の食べ方の課題に気付く、それを克服するためにめあてを決め、その後の実践につなげようとしている。

指導と評価の計画(2時間取り扱い ●本時1/2)

課題等	活動段階	期日・時間	主たる学習活動	評価する内容と方法等
自分のめあてを立てて、偏りなく食	事前	1月〇日 朝の時間	○アンケート記入	【主】①給食アンケート
	本時	1月〇日 学級活動	●もりもりたべて げんきな○○○っ子になろう	【知】①行動観察 【思】①発言、ワークシート
	事後	1月〇日 ~ 〇日 給食時間	○実践	【主】①ワークシート
		1月〇日 学級活動	○振り返り	【思】①振り返りシート

ポイント

学習過程  
つかむ↓さぐる↓見つける↓決める

2 本時の授業計画  
(1) 本時の目標  
自分の食べ方の課題に気付く、食べ物を偏りなく食べることの大切さを知ることを通して、自分なりの食べ方のめあてをもつことができる。  
(2) 展開

過程	時間	学習活動	主な発問・指示・予想される子どもの反応	教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT機器等
つかむ	5	1 給食についてのアンケートの結果を知る。	○毎日の給食をこんなふう に食べていることがわかり ました。 ・好き嫌いが多いな。 ・もりもり食べたいな。	○給食の食べ方について のアンケート結果 を知らせ、自分事と して考えられるよう にする。	給食アンケート結果 (電子黒板)
さぐる	20	2 給食を残したり減らしたりするわけを話し合う。	○「残さず食べよう」 かな。 「減らすのはかわい い」かな。	○自分の正直な気持ち をつぶやくことができ るような雰囲気をつ くる。	給食アンケート結果 (電子黒板)
見つける	10	4 何に気をつけて食べるとよいかを話し合う。(ペア→全体)	○何に気をつけて食べると 毎日元気に過ごせるか 考えてみよう。 ・苦手なものにも挑戦 しよう。	○実態をもとに、個別 の声かけをする。	ワークシート
決める	10	5 自分のめあてを決める。	○自分のめあてを 決めてみよう。	○自分のめあてを 決めてみよう。	

ポイント

本時の評価  
「Bと判断する状況」を具体的に明示する。

【知】野菜の働きや作り手の思いに気付いている。

実践化  
意欲を高めるとともに、実践具合が自己評価できるようにする。

ポイント